



英国、ドイツで 東日本大震災追悼イベントを開催

(一財)自治体国際化協会ロンドン事務所 所長補佐 新野 梓

東日本大震災から10年目を迎えて —在外県人会の故郷への想い—

2021年1月1日現在、世界24か国・37地域に在外福島県人会が存在しており、震災以降、世界各地で復興支援活動を行っています。特に、在英県人会であるロンドンしゃくなげ会（会長満山喜郎氏）は、毎年ロンドンで開催されるイベント「Japan Matsuri」にブースを出展し、桃や米など福島の農産物のPRを行ってきたほか、英国以外の欧州で行われるイベントにおいても、福島の日本酒の魅力や食の安全性を発信してきました。

そのような中、東日本大震災から10年という節目にあたる今年は、コロナウィルス感染拡大の影響により、イベント開催方法の変更を余儀なくされました。

英国より発信、オンライン震災追悼企画

2021年3月11日、ロンドンしゃくなげ会は、オンライン震災追悼イベント“A Decade of Recovery in Fukushima”を開催。震災から現在までの福島の様子、未来への希望、福島の食や観光などの魅力についてのドキュメンタリー映像を放映したほか、ラグビーイングランド代表監督のエディ・ジョーンズさんや在英ミュージシャンの布袋寅泰さんから動画メッセージをいただきました。



ケンジントン・チェルシー区のメイヤーから福島への温かいメッセージを頂いた

また、英国だけでなく、日本を含む世界各地から約2,000人が視聴し、視聴者からは、「震災以降、福島がどのように復興したのか分かり、良かった。」「2021年後半に日本、特に福島を訪れることができるよう、状況が変わることを願っています。あなたの素晴らしい国の果物や酒をぜひ味わいたと思っています。」という心温まるコメントを寄せていただきました。

ドイツでは音楽で追悼イベント

福島県は、ドイツのノルトライン＝ヴェストファーレン州（以下NRW州と略記）と医療機器産業と再生可能エネルギー産業に係る連携強化の覚書を締結しており、同州エッセン市も独自に福島県郡山市と都市間協力に関して覚書を締結するなど、交流を続けてきました。そのエッセン市主催による「福島の春：東日本大震災復興支援メモリアルコンサート」が2021年3月13日に開催されました。ドイツを中心に活躍するクラシック音楽グループARS MUSICAが、フォルクヴァンク美術館から、ドイツおよび日本にそれぞれにちなんだ音楽の演奏をライブで配信し、1,700人を超える方が視聴。

同イベントには、福島県の内堀知事、郡山市の品川市長、エッセン市があるNRW州の経済大臣、在デュッセルドルフ日本国総領事館の岩間総領事、エッセン市長、エッセン市経済振興公社社長も動画でメッセージを寄せました。



演奏会の様子（ピアノには起き上がり小法師がディスプレイ）